

平成30年度製品安全対策優良企業表彰
PSアワード2018
受賞企業講演会

製品安全を「価値」に
その取組を応援します

PS
アワード
2018

製品安全対策優良企業表彰

企業や団体の製品安全への優れた取組を募集し、表彰しています。
あなたの会社の製品安全対策をご紹介ください。

主催：  経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

目 次

1. 平成30年度 受賞企業
2. 表彰事業の概要
3. 審査基準 4つの視点
4. 企業・団体の声



1. 平成30年度 受賞企業・団体

1. 平成30年度 受賞企業・団体

大企業 製造事業者・輸入事業者部門

経済産業大臣賞

- パナソニック株式会社 アプライアンス社
ランドリー・クリーナー事業部

技術総括・保安審議官賞

- 株式会社リコー

大企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞

- 株式会社ニトリホールディングス

技術総括・保安審議官賞

- パナソニックホームズ株式会社

優良賞

- 株式会社千趣会

中小企業 製造事業者・輸入事業者部門

優良賞

- 株式会社幸和製作所
- 株式会社ヨシカワ ライフスタイル事業部

中小企業 小売販売事業者部門

経済産業大臣賞

- 株式会社大一電化社

技術総括・保安審議官賞

- 有限会社ナルデン

特別賞

団体部門

- 一般社団法人日本サッシ協会

企業部門

- ヤマトロジスティクス株式会社
- 株式会社友和



2. 表彰事業の概要

製品安全対策優良企業表彰とは

経済産業省が、企業や団体の、製品安全への優れた取組を募集し、表彰する制度です。

審査のポイント（何を審査するか？）

製品安全を確保するための**体制**を審査するとともに、特に**優れた取組**に重点を置いて審査します。

- 社内のルールや仕組みの元で、**実際に行われている取組**を重要視します。
- 製品自体の安全性を評価するものではありません。

審査における考え方

- 人が作る以上、事故はゼロにならない
（人は必ずミスをする）
- 事故が起きた後に、消費者の立場に立って、
真摯にスピーディーに対応することが大切

過去の製品事故やリコールなどの有無は問いません。

事故やトラブルの経験を糧に、どのように取組を改善したか、
どのように体制を整備しているかなどを確認します。



3. 審査基準 4つの視点

審査基準：一次審査、二次審査の評価方法

1. **4つの視点**（特別賞は**2つの視点**）に関する取組が**総合的に優れている企業・団体**
2. **4つの視点**（特別賞は**2つの視点**）いずれかにおいて**卓越した取組**を行っている**企業・団体**

取組の先進性、積極性、意欲性等の観点で優れた企業・団体を選出します。



審査基準
< 4つの視点 >

製造事業者・輸入事業者部門
小売販売事業者部門

視点1

**安全な製品を
製造・輸入（仕入・販売）
するための取組**

視点2

**製品を安全に
使用してもらうための取組**

視点3

**出荷後に安全上の問題が
判明した際の取組**

視点4

**製品安全
文化構築への取組**

審査基準
<2つの視点>

特別賞

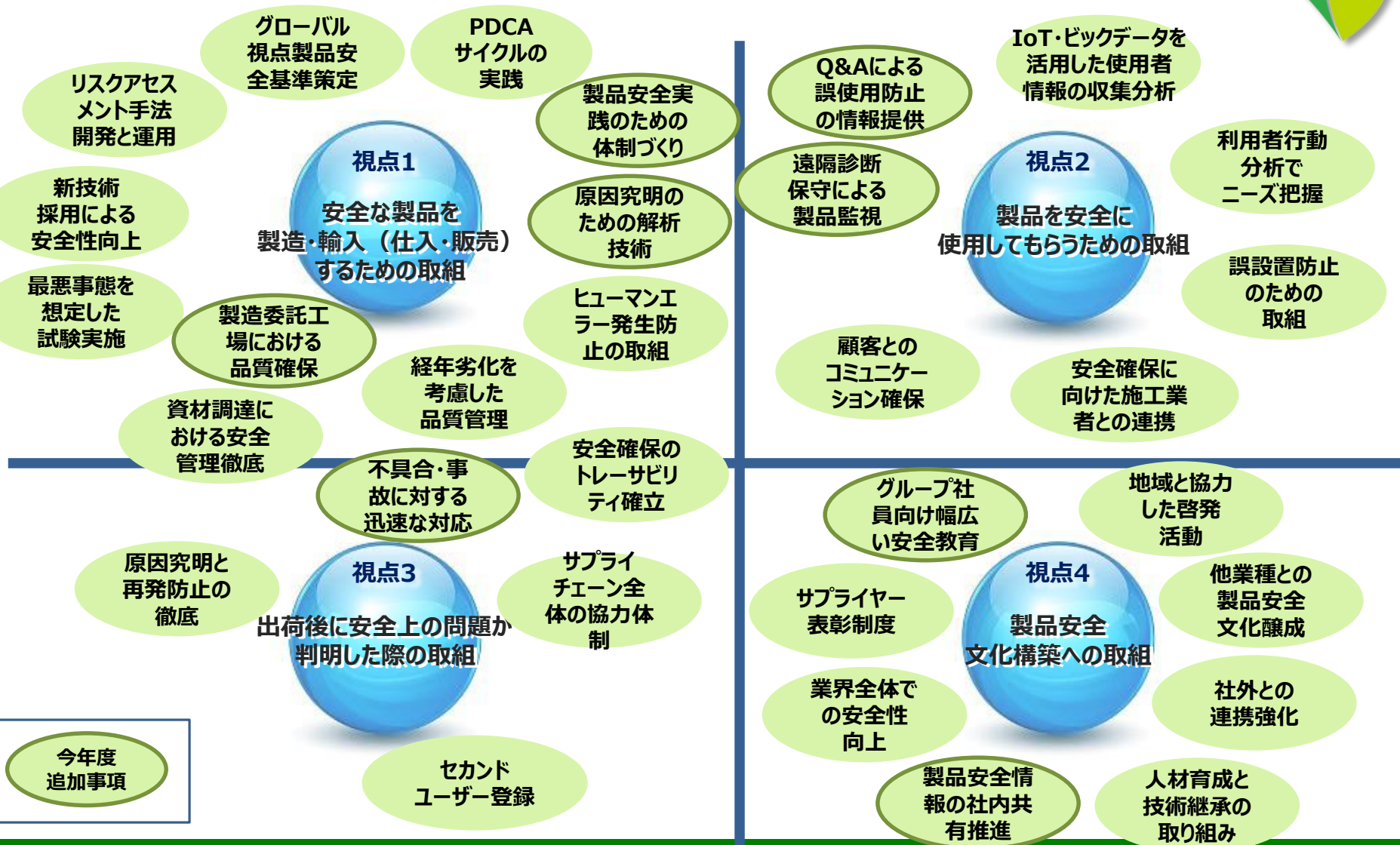
視点1

**製品の安全を
確保・支援するための取組**

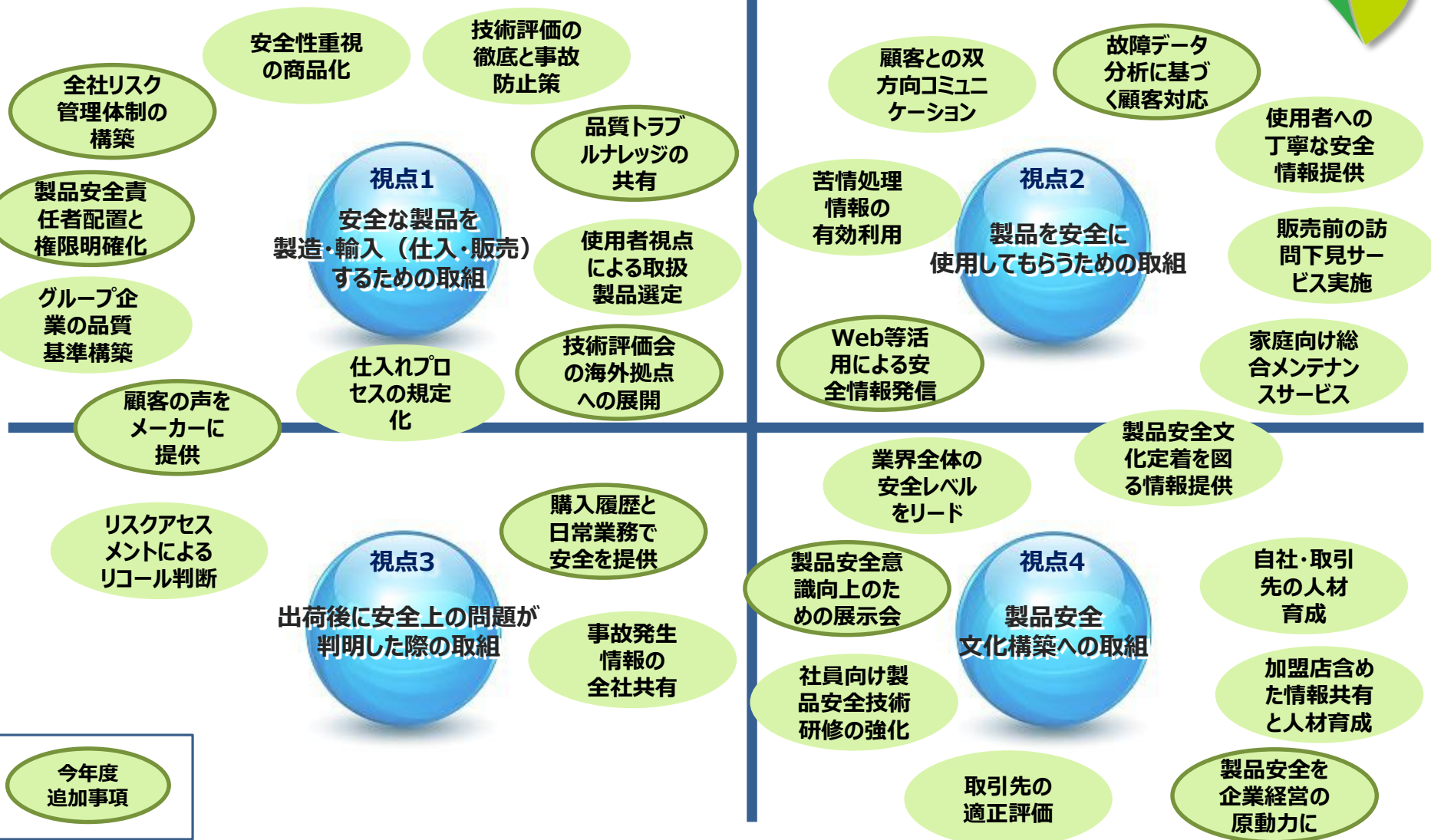
視点2

製品安全文化構築への取組

受賞企業の評価ポイント（製造・輸入事業者）



受賞企業の評価ポイント（小売販売事業者）





4. 企業・団体の声

審査を受けた企業・団体の声

- 審査基準に従って実際の活動を整理することで、自社の製品安全活動を棚卸することができた。またそれにより、強み、弱みを明確にすることができ、次の活動に繋げることができた。
- 審査基準である「4つの視点」は、製品安全の枠組みとして、優れた視点であると感じた。社内の取組の枠組みへの適用を考えている。
- 審査基準は、各部署でのPDCA実施の習慣づけに役立つ。
- 自社のビジネスモデルを、製品安全の視点で整理できた。
- 「製品安全文化構築への取組」は、これまでの会社運営では考えられていなかった部分であり、その重要性を再確認した。
- 自分たちでも弱いと思っていながら積極的に取り組めなかったことに対して、第三者からの指摘は良いトリガーとなると思います。
- 品質管理体制と製品安全への取組みの区別を明確にする必要性を強く感じた。
- 応募資料をもとに社内展開し、教育資料として応用できた。

受賞企業の声

- 審査を通じてこれまでの取り組みを見直すことができ、新たな気づきを得た。
- 全社員の製品安全に対する意識の高揚と、製品安全確保の仕組み確立を推進する機会となった。
- 製品安全担当部署の自覚ができ、会社を自慢に思えるようになった。
- 取引先に対して、製品安全の取組について説明しやすくなった。
- 製品安全の確立が営業力の強化に繋がった。
- 新聞から取材を受けて受賞の記事が掲載された。
- 市役所から取材を受けた。

ご清聴ありがとうございました！

問い合わせ先

製品安全対策優良企業表彰（PS アワード）
事務局

[株式会社三菱総合研究所]

TEL : 03-6705-6067

Email : ps-award2018@mri.co.jp